



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月25日

上場会社名 株式会社DNAチップ研究所 上場取引所 東証マザーズ  
 コード番号 2397 URL <http://www.dna-chip.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 的場 亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務課長 (氏名) 大塚 勉 TEL (045) 500-5211  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

|             | 売上高 |       | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 四半期純利益 |   |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
|             | 百万円 | %     | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円    | % |
| 25年3月期第2四半期 | 109 | 116.1 | △116 | — | △116 | — | △92    | — |
| 24年3月期第2四半期 | 94  | △37.1 | △147 | — | △147 | — | △148   | — |

|             | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
|             | 円 銭             | 円 銭                        |
| 25年3月期第2四半期 | △2,734.20       | —                          |
| 24年3月期第2四半期 | △4,394.37       | —                          |

(2) 財政状態

|             | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----|-----|--------|
|             | 百万円 | 百万円 | %      |
| 25年3月期第2四半期 | 434 | 372 | 85.8   |
| 24年3月期      | 598 | 457 | 76.4   |

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 372百万円 24年3月期 457百万円

2. 配当の状況

|            | 年間配当金      |            |            |      |      |
|------------|------------|------------|------------|------|------|
|            | 第1<br>四半期末 | 第2<br>四半期末 | 第3<br>四半期末 | 期末   | 合計   |
|            | 円 銭        | 円 銭        | 円 銭        | 円 銭  | 円 銭  |
| 24年3月期     | —          | 0.00       | —          | 0.00 | 0.00 |
| 25年3月期     | —          | 0.00       |            |      |      |
| 25年3月期(予想) |            |            | —          | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高 |     | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |  |
|----|-----|-----|------|---|------|---|-------|---|----------------|--|
|    | 百万円 | %   | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円   | % | 円 銭            |  |
| 通期 | 410 | 2.2 | △25  | — | △25  | — | △25   | — | △737 53        |  |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

②①以外の会計方針の変更 : 無

③会計上の見積りの変更 : 無

④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)

|          |         |        |         |
|----------|---------|--------|---------|
| 25年3月期2Q | 33,897株 | 24年3月期 | 33,897株 |
|----------|---------|--------|---------|

②期末自己株式数

|          |    |        |    |
|----------|----|--------|----|
| 25年3月期2Q | —株 | 24年3月期 | —株 |
|----------|----|--------|----|

③期末平均株式数(四半期累計)

|          |         |          |         |
|----------|---------|----------|---------|
| 25年3月期2Q | 33,897株 | 24年3月期2Q | 33,897株 |
|----------|---------|----------|---------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報           | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報            | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報            | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報            | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項        | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用    | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等          | 4 |
| 4. 四半期財務諸表                   | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表                 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書                 | 6 |
| 第2四半期累計期間                    | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書          | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記            | 8 |
| (5) 四半期財務諸表作成に関する注記          | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記   | 8 |
| (7) セグメント情報等                 | 9 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景に景気回復の兆しが見え始め、企業収益はゆるやかに改善しており、雇用情勢も完全失業者数が減少するなど、今後は持ち直していくことが見込まれております。しかしながら、長期化するデフレや円高に加え、ユーロ圏の債務問題を背景とした海外経済の減速など、わが国経済にも大きな影響を及ぼす可能性もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当期の目標を「研究開発から事業化へ加速」と定め、研究受託事業の重点化とメニューの充実及び診断関連事業拡充による収益構造の改革を推進しております。

これらの結果、第2四半期累計期間の売上高は109百万円(前年同四半期比116.1%)となりました。利益面では、営業損失116百万円(前年同四半期147百万円)、経常損失116百万円(前年同四半期147百万円)、第2四半期純損失92百万円(前年同四半期148百万円)となりました。

事業部門別事業状況は次のとおりです。

#### 【研究受託事業】

マイクロアレイを使用した受託解析サービス事業では、リピート顧客確保と食品、創薬系の大型案件確保のため全社員営業活動と、提案型研究受託を推進しております。また、次世代シーケンス受託では平成24年7月から最も重要な48癌関連遺伝子を正確にシーケンスすることができる「Cancer Panel」の受託サービスを開始しました。

診断事業においては、リウマチ総合診断支援サービス拡販の一環として、平成24年3月からのリウマチ多剤効果判定のサービス開始に向けβテストを実施中です。また、診断マーカー、発現プロファイルデータなどのビジネス化を推進するとともに、新たにコンパニオン診断薬<sup>(注1)</sup>開発支援事業を展開するため、医薬品開発と一体化した診断マーカー開発への参入を推進しております。

その結果、第2四半期累計期間の売上高は、104百万円(前年同四半期比113.7%)となりました。

#### 【商品販売事業】

DNAチップ解析を体験できるキットである「ハイブリ先生」及びiPad環境(その互換環境を含む)で稼動するソフトウェア・パッケージ製品「iRIS:関節リウマチ問診システム」の受注拡大を推進しております。

その結果、第2四半期累計期間の売上高は、5百万円(前年同四半期比192.9%)となりました。

(注1) コンパニオン診断薬：患者ごとに医薬品の有効性や安全性を投与前に判断するための診断検査法。コンパニオン診断薬を使えば特定の治療薬が効く可能性の高い患者を選別できるため、臨床面では高い治療効果が得られ、無駄な治療をしないですむ。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産・負債及び総資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて117百万円減少し、408百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が171百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて46百万円減少し、25百万円となりました。これは、固定資産の減価償却7百万円や投資有価証券40百万円の減少によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて164百万円減少し、434百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて79百万円減少し、59百万円となりました。これは、買掛金が79百万円減少したことなどによるものですが、前受金の増加20百万円もありました。

固定負債の残高は2百万円で前事業年度末に比べて増減は殆んどありません。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて79百万円減少し、61百万円となりました。

##### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて84百万円減少し、372百万円となりました。これは、主に四半期純損失92百万円によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末におけるおける現金及び現金同等物の残高は 45 百万円増加し、306 百万円(前年同四半期末 346 百万円)となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期累計期間では 50 百万円の収入であったのに対し、当第2四半期累計期間は 9 百万円の支出となりました。主な要因は、税引前四半期純損失 92 百万円、たな卸資産の増加 8 百万円、仕入債務の減少 79 百万円等の支出ですが、売上債権の減少による収入 171 百万円や、前受金の増加 20 百万円などもありました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期累計期間では 5 百万円の支出であったのに対し、当第2四半期累計期間は、55 百万円の収入となりました。主な要因は、投資有価証券売却による収入 72 百万円ですが、固定資産の取得による支出 17 百万円もありました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期累計期間及び当第2四半期累計期間ともに収入・支出ともありませんでした。

## (3)業績予想に関する定性的情報

主要顧客である大学等公的研究機関での研究投資の縮小傾向や、加えて医療制度抑制策等による国内市場拡大への影響が今年も続くものと思われます。さらに、当社の顧客である大学、研究機関等が東日本大震災に対する復興財源確保の影響を考慮して研究経費の縮減を進めることが考えられ、当社を取り巻く経営環境は厳しいものになると思われます。

このような環境の中、当社は引き続きアジレント社製各種マイクロアレイを使用した受託解析サービス及び診断支援サービス等の研究受託事業を中心に事業を展開してまいります。

受託解析サービスにおいては、従来の大学・研究所中心のビジネスに加え、食品・創薬系の大型案件確保のため全社員営業活動と提案型研究受託を推進してまいります。また、次世代シーケンシング受託の事業拡大のため、新規受託メニューの充実を図ってまいります。

診断ビジネスにつきましては、「リウマチ総合診断支援サービス(レミケード効果予測検査)」に加えてエンブレル<sup>(注2)</sup>、アクテムラ<sup>(注3)</sup>の効果予測検査を商品化させ、リウマチ多剤効果判定を推進してまいります。さらに、新たにコンパニオン診断薬開発支援事業を展開するため、医薬品開発と一体化した診断マーカー開発への参入を推進してまいります。

商品販売事業におきましては、「ハイブリ先生」を、引き続き遺伝子解析実習等を行うスーパーサイエンススクール等学校を中心に拡販するとともに、iPad 環境(その互換環境を含む)で稼動するソフトウェア・パッケージ製品「iRIS:関節リウマチ問診システム」の受注拡大を推進してまいります。

なお、当期の業績予想につきましては、マイクロアレイを使用した受託解析サービスの充実と診断事業の拡大による研究受託事業の強化を推進し、業績予想として売上高 410 百万円、営業損失 25 百万円、経常損失 25 百万円、当期純損失 25 百万円を見込んでおります。

(注2) エンブレル：エンブレルは、従来の治療方法では十分に効果が得られない関節リウマチ患者の新たな治療薬として承認された生物学的製剤である。エンブレルは関節リウマチに見られる炎症作用を著しく抑制する。エンブレルの有用性は世界中で認められており、海外では、長期投与による臨床効果も実証されている。またエンブレルは現在、世界 74 カ国以上で承認されており、関節リウマチ以外の適応症を含めると、47 万人以上の患者に使用されている。

(注3) アクテムラ：アクテムラは、IL-6(インターロイキン 6)レセプターを阻害して関節リウマチを抑える、全く新しい作用の「生物学的製剤」である。作用機序が異なるということは、より効果が高い、あるいは、従来の生物学的製剤では効果不十分もしくは副作用で使用困難であった患者にも有効である可能性がある。アクテムラは国立大学法人大阪大学のグループにより開発された「日本発」の生物学的製剤であり、すでにキャッスルマン病という疾患では 2005 年 4 月にわが国で市販承認がおりている。関節リウマチに関しては、これまで

に国内外でいくつもの治験が積み重ねられ、2008年4月、世界に先駆けて日本で関節リウマチ治療に市販承認され一般の患者が利用できるようになった。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知置きください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

|              | (単位：千円)               |                            |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
|              | 前事業年度<br>(平成24年3月31日) | 当第2四半期会計期間<br>(平成24年9月30日) |
| 資産の部         |                       |                            |
| 流動資産         |                       |                            |
| 現金及び預金       | 261,001               | 306,299                    |
| 受取手形及び売掛金    | ※ 249,879             | ※ 78,696                   |
| 商品           | 11,219                | 10,733                     |
| 仕掛品          | —                     | 9,236                      |
| その他          | 3,373                 | 3,178                      |
| 流動資産合計       | 525,474               | 408,144                    |
| 固定資産         |                       |                            |
| 有形固定資産       | 31,195                | 24,383                     |
| 無形固定資産       | 582                   | 582                        |
| 投資その他の資産     |                       |                            |
| 投資有価証券       | 40,000                | 0                          |
| その他          | 962                   | 962                        |
| 投資その他の資産合計   | 40,962                | 962                        |
| 固定資産合計       | 72,739                | 25,927                     |
| 資産合計         | 598,214               | 434,072                    |
| 負債の部         |                       |                            |
| 流動負債         |                       |                            |
| 買掛金          | 90,857                | 11,457                     |
| その他          | 47,854                | 47,611                     |
| 流動負債合計       | 138,711               | 59,068                     |
| 固定負債         |                       |                            |
| 引当金          | 2,258                 | 2,360                      |
| 固定負債合計       | 2,258                 | 2,360                      |
| 負債合計         | 140,970               | 61,428                     |
| 純資産の部        |                       |                            |
| 株主資本         |                       |                            |
| 資本金          | 1,116,368             | 1,116,368                  |
| 資本剰余金        | 1,028,918             | 1,028,918                  |
| 利益剰余金        | △1,679,961            | △1,772,642                 |
| 株主資本合計       | 465,324               | 372,643                    |
| 評価・換算差額等     |                       |                            |
| その他有価証券評価差額金 | △8,080                | —                          |
| 評価・換算差額等合計   | △8,080                | —                          |
| 純資産合計        | 457,244               | 372,643                    |
| 負債純資産合計      | 598,214               | 434,072                    |

## (2) 四半期損益計算書

## 第2四半期累計期間

(単位：千円)

|              | 前第2四半期累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年9月30日) | 当第2四半期累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高          | 94,661                                      | 109,904                                     |
| 売上原価         | 121,977                                     | 144,412                                     |
| 売上総損失(△)     | △27,316                                     | △34,508                                     |
| 販売費及び一般管理費   | ※1 120,603                                  | ※1 82,210                                   |
| 営業損失(△)      | △147,919                                    | △116,719                                    |
| 営業外収益        |   |   |
| 受取利息         | 36  | 24  |
| その他          | —   | 3   |
| 営業外収益合計      | 36  | 28  |
| 営業外費用        |   |   |
| その他          | 10  | —   |
| 営業外費用合計      | 10  | —   |
| 経常損失(△)      | △147,894                                    | △116,690                                    |
| 特別利益         |   |   |
| 投資有価証券売却益    | —   | 24,484                                      |
| 特別利益合計       | —   | 24,484                                      |
| 特別損失         |   |   |
| 投資有価証券評価損    | 530   | —   |
| その他          | 55  | 0   |
| 特別損失合計       | 586   | 0   |
| 税引前四半期純損失(△) | △148,481                                    | △92,206                                     |
| 法人税、住民税及び事業税 | 475   | 475   |
| 法人税等合計       | 475   | 475   |
| 四半期純損失(△)    | △148,956                                    | △92,681                                     |

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

|                      | 前第2四半期累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年9月30日) | 当第2四半期累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     |   |   |
| 税引前四半期純損失(△)         | △148,481                                    | △92,206                                     |
| 減価償却費                | 5,112                                       | 7,421                                       |
| 投資有価証券売却益及び評価損益(△は益) | 530   | △24,484                                     |
| 受取利息                 | △36   | △24   |
| 売上債権の増減額(△は増加)       | 278,199                                     | 171,183                                     |
| たな卸資産の増減額(△は増加)      | △33,396                                     | △8,749                                      |
| 仕入債務の増減額(△は減少)       | △45,452                                     | △79,399                                     |
| 前受金の増減額(△は減少)        | —   | 20,399                                      |
| その他                  | △5,481                                      | △3,042                                      |
| 小計                   | 50,995                                      | △8,904                                      |
| 利息の受取額               | 36  | 24  |
| 法人税等の支払額             | △840  | △857  |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 50,190                                      | △9,736                                      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     |   |   |
| 有形固定資産の取得による支出       | △5,793                                      | △17,529                                     |
| 投資有価証券の売却による収入       | —   | 72,564                                      |
| 敷金の回収による収入           | 192   | —   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △5,601                                      | 55,035                                      |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     |   |   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | —   | —   |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)  | 44,589                                      | 45,298                                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 302,393                                     | 261,001                                     |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高     | ※1 346,983                                  | ※1 306,299                                  |

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) 四半期財務諸表作成に関する注記

## (四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第2四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期会計期間末日残高に含まれております。

|      | 前事業年度<br>(平成24年3月31日) | 当第2四半期会計期間<br>(平成24年9月30日) |
|------|-----------------------|----------------------------|
| 受取手形 | 3,034千円               | 472千円                      |

## (四半期損益計算書関係)

※1 販売管理費及び一般管理費の主要な費用及び金額は次のとおりであります。

|       | 前第2四半期累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年9月30日) | 当第2四半期累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年9月30日) |
|-------|---|---|
| 役員報酬  | 24,804千円                                    | 21,327千円                                    |
| 給与手当  | 21,361千円                                    | 17,011千円                                    |
| 研究開発費 | 21,777千円                                    | 3,193千円                                     |

## 2 売上高の季節的変動

当社は、事業の性質上、売上高が第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に集中する傾向があり、各四半期会計期間の業績に季節的変動があります。

## (四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

|           | 前第2四半期累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年9月30日) | 当第2四半期累計期間<br>(自 平成24年4月1日<br>至 平成24年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 現金及び預金    | 346,983千円                                   | 306,299千円                                   |
| 現金及び現金同等物 | 346,983                                     | 306,299                                     |

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (7) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                   | 研究受託事業  | 商品販売事業 | 計       |
|-------------------|---------|--------|---------|
| 売上高               |         |        |         |
| 外部顧客への売上高         | 91,837  | 2,823  | 94,661  |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | —       | —      | —       |
| 計                 | 91,837  | 2,823  | 94,661  |
| セグメント利益又は損失(△)    | △28,631 | 1,314  | △27,316 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益               | 金額       |
|------------------|----------|
| 報告セグメント計         | △27,316  |
| セグメント間取引消去       | —        |
| 全社費用(注)          | △120,603 |
| 棚卸資産の調整額         | —        |
| 四半期損益計算書の営業損失(△) | △147,919 |

(注)全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                   | 研究受託事業  | 商品販売事業 | 計       |
|-------------------|---------|--------|---------|
| 売上高               |         |        |         |
| 外部顧客への売上高         | 104,458 | 5,445  | 109,904 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | —       | —      | —       |
| 計                 | 104,458 | 5,445  | 109,904 |
| セグメント利益又は損失(△)    | △36,460 | 1,951  | △34,508 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益               | 金額       |
|------------------|----------|
| 報告セグメント計         | △34,508  |
| セグメント間取引消去       | —        |
| 全社費用(注)          | △82,210  |
| 棚卸資産の調整額         | —        |
| 四半期損益計算書の営業損失(△) | △116,719 |

(注)全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。